

丹生川を望む3階バルコニー。ご主人手作りのテーブル&チェアが置かれている。



家族がくつろぐ居間は、フロアリングに畳と掘りごたつを置き、リラクセスできる空間になっている。



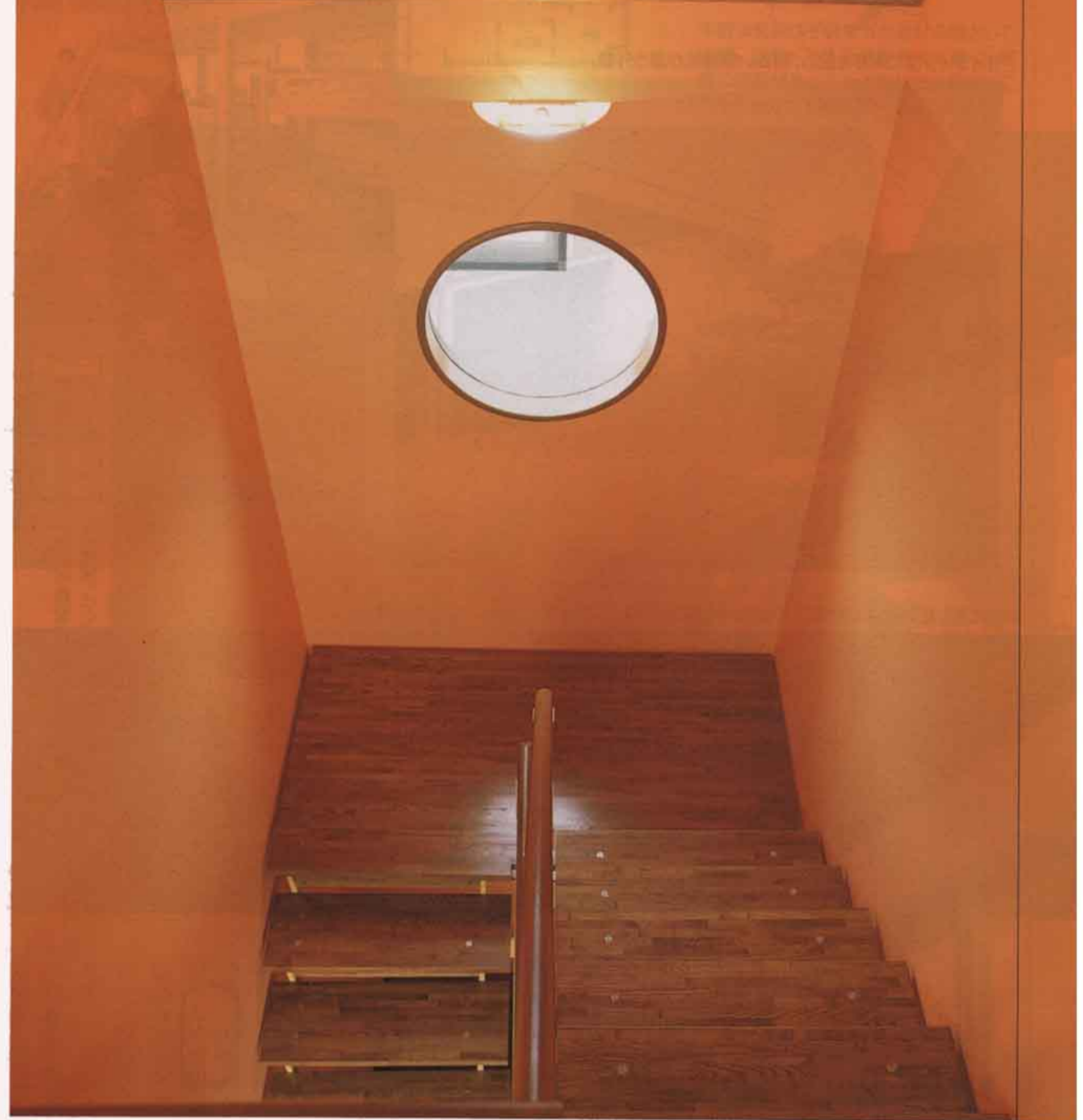
大人っぽいインテリアの寝室。ブラインドは部屋ごとに変えている。

縦長の使いにくい土地を逆に活用した遊び心いっぱいの楽しい家。

以前バレーを習っていた奥様の希望で、2階の1室には鏡とバーを設置。



栓尽くしのバスルームは、香りがとてもよく、気持ちがいい。



階段は1階から3階までつながっている。丸窓とワンポイントの照明がアクセント。

コンクリートに明るいオレンジ色を配した、細長い3階建ての家。両サイドのバルコニーが半円形に突き出し、3階のバルコニーには木枠の屋根みだりなものが建っている、何やら不思議で楽しい建物。

この、どこから見ても「目立つ家」が、伊藤さんのお宅です。大分市東部の丹生川が海に注ぎ込む辺りに、川に面して建ち、車で近くを走っていても必ず目に飛び込んでくる家。こんなインパクトのある家を建てた方は、一体どんな方...? と、つい興味が湧いてしまう住まいです。

家族はご夫婦と娘さんの3人。同じ敷地の中に、奥様の実家があります。「遊び心のある家を建てたいと思ったんです。ここは土地を家内の実家と半分ずつにしたので、横幅が8mほどの細長い土地になってしまった。でもありきたりの四角い土地よりも、個性的な土地の方が面白い家ができると思ったんですよ」とご主人。

土地が広くないため、車庫スペースを1階に取るに必然的に3階建ての家になりました。「コンクリートの打ち放しだけじゃ面白くないから」と、随所にオレンジ色を配置。オレンジを選んだのは「見る人も楽しめるし、元気が出る色だから」。

「面白い」「楽しい」を物差しにして造ったのは、もちろん外観だけではありません。階段の踊り場を広く取って、まん丸の窓を設け、階段の手すりは黄色。部屋ごとにブラインドの色や柄を変え、夜に電気を消すと星空模様の壁紙が光り輝くという部屋も。

「機能ばかりより、無駄なものもあつた方が、楽しいでしょう?」と言われる伊藤さん、最初に頭の中にあつたイメージは、安藤忠雄のアパートだったそうです。



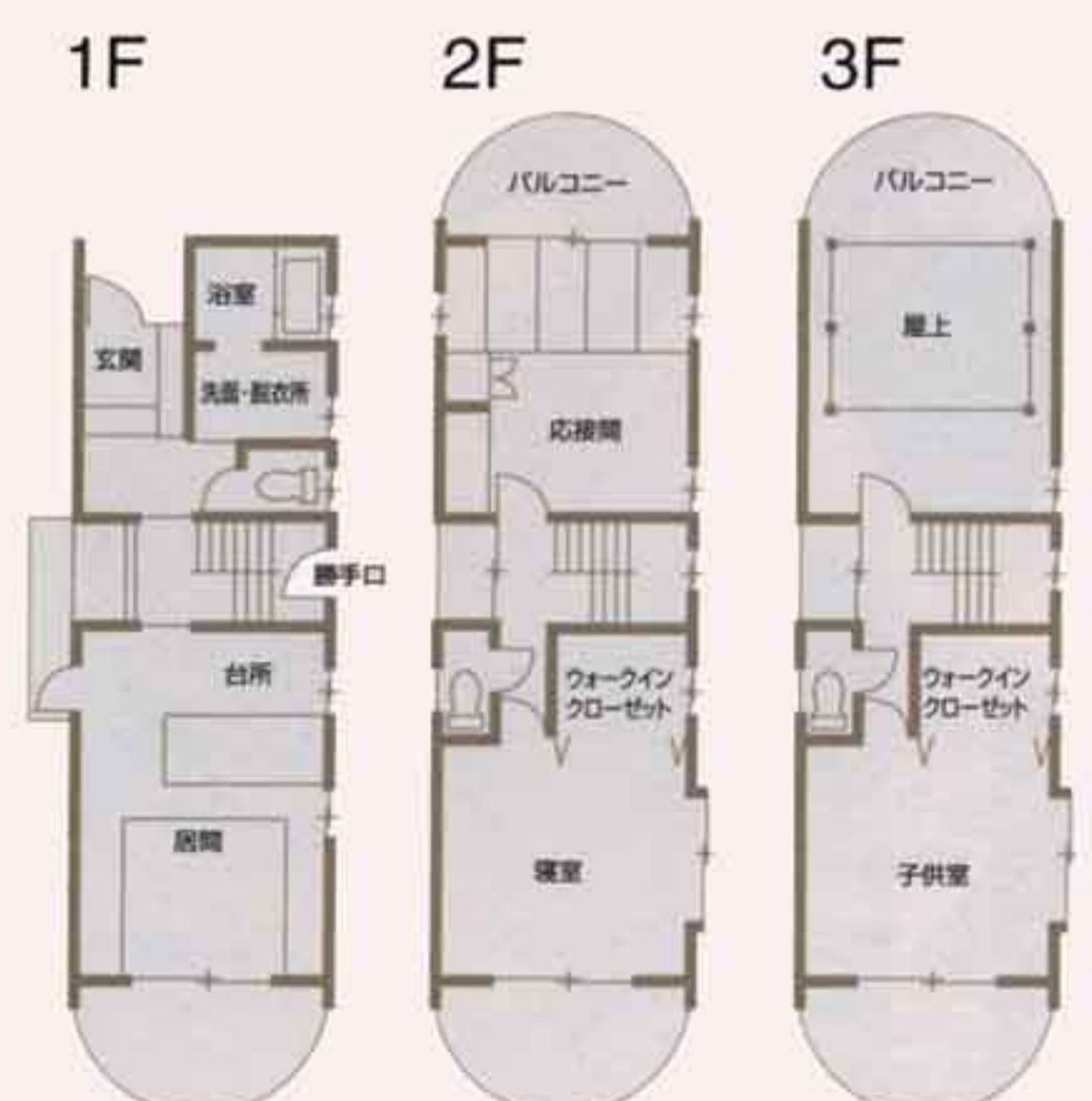
外観を側面から見ると、意外なほど大きな建物に見える。無機質なコンクリートにオレンジ、それにブルーの楕円のアクセントが美しい。

もちろんこの伊藤邸は、ただ「面白い」だけではなく、機能性や快適性も十分に考えられています。

南北に開口部が設けられているので風通しがよく、また床に敷き詰めた備長炭は湿気や臭いを取り、虫除けの役目も果たしてくれます。居間にはフロアリングの上に一部分畳を敷き、掘りごたつを置いて、ごろりとくつろげるようになっています。壁一面が鏡におおわれた浴室も、香りがよく、家族みんなが気に入りのスペースです。

そして何といつても気持ちがいいのが、川に面した3階の広いバルコニー。目の前に爽やかな緑と水辺のロケーションが広がり、ここたまに家族で食事をするのも楽しみのひとつ。

伊藤さん達が家からの眺望を楽しんでおられる分、道行く人々や、川辺で散歩や釣りを楽しむ人たちもまた、そばに建つこの「元気が出る面白い家」を眺めて、楽しませていただいているに違いありません。



伊藤邸(大分市)

- DATA
- 敷地面積 / 160㎡
- 延床面積 / 150.75㎡ (1F55.75㎡・2F58.75㎡・3F36.25㎡)
- 用途地域 / 近隣商業地域
- 構造 / 鉄筋コンクリート造
- 設計 / アヴニール設計
- 設計期間 / 約3カ月
- 施工 / オリエンタルハウス(株)
- 施工期間 / 約6カ月
- 家族構成 / 大人2人+子供1人
- 予算(建物のみ) / 3,000~3,500万円
- 間取り / 4LDK



正面から見た外観。丸く張り出したバルコニーが印象的だ。